

日七月一

常警每日新聞

定価 一冊五円、一月五十五円、三月百五十円、半年九百円、一年千八百円

発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

陣中想出話

(五)

平町出身
歩兵第九聯隊 水野重光
第三中隊

▼警備後の討伐

ある支那鐵道の警備を他部隊と交代してから後十幾里の行軍をなして目的地に近き處に進軍した處大きな川があつて丁度その朝に限り霜が下りて寒氣は相當厳しい、吾等はその中を裸になつて川を渡つた事は忘れられぬ事である、そして東の空が明るくなつて來た時は早や敵陣地に入りて突撃して見る、中に數十の敵を斃し我軍にても多少の損害を受けたが何にしる行軍が激しい爲め随分疲れた、忘れられぬ日は十月十四日の朝午前五時である。

▼曉の渡河

越すに越されぬ大井川は滿洲にもあるぞ
着物は頭の上ののせた
君仕度は良いか
淺瀬はこちらだ、武器を大切にせい轉ぶなよ
分隊長の案内で續く部下
嗚呼と悲鳴のK君
輝が水にぬれたと大騒ぎだ
さて其の處分の方法は
分隊長の指示を待つまでもあるまい。

▼振り上げた刀

大瓜茄の田霖の本陣を衝い

た日の朝の事だつた 朝霧まだ晴れぬ拉法川のはとりに輕重機は猛烈に打ち出した、今川岸の民家の門を打ち破つて屋敷内に突入した我小隊は家屋内の掃蕩を初めた右の方の家から年の頃三十五六の男を引つ張り出

ノート

敬稱にはいろいろあります
が公用の場合には殿その外はなるべく様を用ひますのが感じがよろしうございます

した、私は軍刀を抜いて首を切つてやらうと太刀を振り上げたが遂に決心がなぶつた、それはどういふ譯か
好人、好人(良い人間だといふ意味)と兩手を合せて命乞ひをしてゐる、男の

二明日の献立
【朝】すまし汁—ねぎ 甘藷
【晝】あんかけ—鯛あんかけ おろし生姜
【晩】みそ汁—ぼら 豆腐 せり 白みそしたて

周囲に女の子供がすがりついて來た、わめきささいであるその様を見ると女子供の前で一刀の下に斬り捨てしそれが良民であつたら其

の一家は勿論その村の者の反感も益々募るばかりだといふ事を考へた、又今此の様な者を一人切つた所で仕方がない、早やく主力に追及して敵を全滅させてやらうと思つた爲めに直ちに川に沿つて前進したのだつた今尚振り上げた太刀の下に兩手を合せて哀願してゐる姿が見えるやうだ。



常警歌壇

飯村長四郎

亡き君の胸に入るたび眞悲しき此の心はやいかにすべさか
君遊せて此の五年のさびしさを堪え居る吾れを君しるや君

冬に入り陽は照るなれど梅園の風みにしみて逐はるる心地
千波湖のベンチに病む身ごちをれば人ふりかへり見て過ぎにけり
涙などと笑はば笑ひ此の涙われには安さなぐさめなるに

耳鼻喉科専門

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

毎度御ひいき
有難ふ御座ります
うなぎの御用命は

うなぎの御用命は 奴

平町田町(電話二二番)

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!



旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印
菓子 壘
菓子 食器
其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

◇又々ウチワ豫約期が來ました◇

明年のウチワ・扇子は諸掛のかゝる外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ! 是非一度御用命を...

◇平乙女の腕で出來上る町産品◇

山久團扇店
平町屋前
電話(呼)四〇九番
菓子壘硝子器豐富在庫
レカダン・ポス

家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の元泉に化學的操作を加へたる草津湯の素 家庭風呂に外用に! 冬の保健衛生に最も適す心地よく温まり絶対に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。

伊藤軍二商店

平町一丁目電話三四九番
販賣元草津温泉研究所營業部
各町村一ヶ所に限る御申越あれ
特に御相談に應ず。

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します
平町二丁目(三幸堂跡)

根本時計店

電話六〇七番

外科

専門線光

上田外科病院

平町南町
電話二二九番

渦巻萬歳

凱旋第一陣の頭驛平

待たれた多門凱旋師團麾下將兵のうち常磐線經由第一陣を承る野砲二聯隊本部及び第一中隊は大谷聯隊長及び友人久輪送指揮官以下百七十名が本日午前五時五十分平驛に到着朝まだきから驛頭に詰め掛けた在郷軍人、青年團、婦人會員及び沿線に塔列せる各學生等より熱烈な歓迎を受け歡呼聲裡に朝食を執り同六時二十分萬歳の聲轟く中を懐しの仙臺師團に向つて出發した

第二陣の將兵

何れも大元氣!

青沼町長の祝辭

凱旋の第二陣野砲二聯隊第一中隊本部、第二中隊、工兵二中隊將兵三百廿五名別乗軍用列車は本日午前十時十八分平驛ホームに到着續々と詰掛けた各種團體の歡迎裡に指揮官柴田重太郎少佐は構内事務所に假設された歡迎會場で各方面よりの祝辭を受け將兵何れも大元

氣にて同十時四十五分各團體よりの記念品を山と積み込み沿線に塔列した二千餘の學生の萬歳を浴びて出發したが當日青沼町長の歡迎辭は左の如くである

満洲の守備は東亞治亂の開紐にして帝國安危の繫る處なり曩に我第二師團は國家の重寄を負ひて其の大任に當る偶々滿洲事變の惹起するや諸士の忠勇義烈神機百出忽にして匪賊を殲滅し其の戰闘の烈、勳功の偉、古來未だ其の比を見ず内外咸驚嘆す之に依つて皇國を大嶽の外に伸ぶ國民の擧げて敬仰感謝する處なり吾等本日赫灼として武勳に輝く我師團の凱旋將士を迎へ歡呼跳躍措く處を知らず茲に滿腔の誠意を捧げ謹みて勞績を感謝し威勳を稱賛し併せて武運長久を祈る

戰死者の老母と

大谷聯隊長の對面

今朝未だ明けやらぬ平驛頭 描き出された劇的一シーン

今朝五時五十分常磐線一番がけで晴れの歸還を急ぐ野砲兵二聯隊長大谷砲兵大佐が平驛停車場の時間をアラソトホームに降り立ち

や山崎郡聯合在郷軍人分會長、藤田平在郷軍人分會長、其他多數に取り巻かれ小憩の際歡迎の人波み押し分けて其場に躍り出た粗末な袴天着の老婆があつた、

の老婆こそ一昨年十一月六日大興の戦ひに於いて匪賊數名を手當り次第に斬り捲り遂に壯烈な最後を遂げた石城郡町出身砲兵

伍長西巻重正君の母親ハツ(六)さんである
聯隊長さんのお歸りが此の汽車だ、イヤ此の次だと云ふ者がありやして、ハツキリしやせんでした、何んでも出て見れば確かだと思つて今朝は三時に起きやして歩いて来た處でやんす

ものでありました、御子息さんが戰死してくれました、お陰で我國が勝つ事が出来、私共も斯ふやつて凱旋が出来るので時間があればお墓へも詣り度いのですが今は其時でありません、どうぞ私の意中を墓前にお傳へして下さい

聯隊長は老婆をいたわりながら當時の戦況等を詳細に物語る、發車の合圖が鳴り響く……大谷聯隊長は老婆の揮身からふりしぼる萬歳の聲に送られて再び車中の人となつた、今朝の暗き平驛頭の萬歳渦巻く中に描き出された劇的一シーンである

品不足から

木炭値鰻上り

夏頃に比較して倍の相場

平町の木炭相場は元旦以來一日と値上りを呈し最近市内の小賣相場は雜割一俵六十五錢、雜丸七十錢、檜丸七十五錢、檜割七十錢と云々高値で昨年夏期の相場に比較し倍加して居る原因は昨年中極力出炭制限をして居た結果需要期に向へ非常な品不足を見て居る爲めで舊正月頃迄には尙二三十錢の値上りを豫想されて居ると

會を開き小學校増築起債其を附議し終つて新年宴會を催した

永戸村の助役 石城郡永戸村助役は此程任期満了となつたので後任として遠藤齊氏が當選就任した

服部教頭の不幸

平商業學校教頭服部甲氏令息鐵男君(本年四歳)は一昨日來胃瘵の爲め自宅に於て療養中の處今朝一時遂に死去した、葬儀は明日午後二時自宅出棺火葬場に於て執行すると

郡内卓球

大會開く

平第三校にて

平第三小學校主催第二回郡内卓球大會は来る二月五日午前九時より同校講堂に於て平卓球協會及び大塚運動具店後援の下に開催されるが優勝者には大カップを贈呈する外副賞を進呈すると

小名濱初町會

石城郡小名濱町では去る日町

平一
食事
喫茶
一エフカ
番六四話電

印刷御用命
總は命御
印刷日每警常
番〇三六話電

木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

御贈答に
記念品に
諸景品に
漆器を!!!
誠實勉強
親切第一
在庫豊富
是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
ル、又ルモノミセ
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
各國産漆器
専門卸小賣
漆器店
店員募集 十三才位 小 店員
三才位 外 交員

